

クローバーの「時×空」投資 TimeSpace

クローバー・アセットマネジメント株式会社 月次レポート 2021年12月30日基準



★「大脳化する世界」

皆様あけましておめでと〜ございます。

2年前に武漢でコロナウイルスが発生した当時、2022年の1月時点でも未だに世界的な騒ぎが続いているというのは正直想像できていませんでした。ただ、スペイン風邪のケースでも終息に3年かかったそうですから、もう一年は我慢しなければいけないでしょうね（ただし、スペイン風邪のケースでも2年目がピークで、3年目は随分と収まったようです）。

様々な大きな影響を、世界規模でもたらした今回のパンデミックですが、私が一番びっくりしたのが、あれほどグローバル化でフル回転していた人、モノ、情報の流れ、特に人の流れが、これほど見事にストップしてしまう事態が現実起こるということでした。確かに相当の対応は必要なものの、今回のような極端なパンデミックに至ったのにはいくつもの理由があったと思います。

ひとつにはメディアの変化です。特に昨今のインターネットの特徴として、リコメント機能があります。例えば、アマゾンで本を買おうと、似たような内容の本が次々と推奨されることがあります。あるいはYouTubeやネット検索でも、同様の

内容のものを上位で推奨してくるというシステムです。このため、人々は似たような価値観の情報だけに囲まれることとなり、本来正解は中間にあるはずなのに、それぞれの人間が自分の考え方がそれが正しいと極端な思考に洗脳されて、対立が激化してしまうのです。新型コロナのケースでも、極度の悲観論と、極度の楽観論が対立してしまいましたが、今回は、この悲観論とマスメディアが結びつき、かなり極端な世論を世界的につくりあげてしまったように思います。

さらに、ウイルスへの過剰反応を生んだもう一つの理由があると思います。現代人は、人間にとって快適な、理想的な空間や社会をつくりあげること成功しました。それは人間の想像力、つまり「大脳」が創り出した社会で、すべて人間がコントロールできる空間です。住居も仕事場も年中快適で温度調整が行われ、住居はバリアフリー、仕事場もフラットです。そして、ここでは、人間がコントロールできない「自然」的なもの、不都合なものも全て排除されています。考えてみれば我々人間も生き物ですから「自然」のはずなのですが、生死にかかわる時や病気になる時は病院に追いやられ、また日々の肉や魚の加工や、さらには自らの排泄物も、生臭い「自然」的なものすべてきれいに処理され、見ないで済む社会になっています。そのため、部屋の中に虫が一匹でもいたとすれば、多くの人が「異物」として認識し、早々に駆除しようとするでしょう。本来、この地球上で、虫がいる空間こそが正常で、人間が創り出した空間の方が異常なのですが…。

模のパンデミックでしたが、新型コロナは地球的には「正常」でも、人類にとっては巨大な「異物」として映ったため、皆が過剰反応したというのが、真相のような気がします。

そもそも地球に生命が誕生してから38億年、生物に大脳が誕生したのはごくごく最近のことです。でもそれまでの生物は、大脳無しで、環境の変化を感じ、判断し、生きながらえてきたはず。むしろ、大脳以前の脳や感覚器官の方が、生死にかかわったり、全体のバランスを感じたりと大事な役割を担ってきた分、「直感的に」正確な判断が出来てきたと考えるべきでしょう。しかし、大脳は論理的でかつ利己的だけに、一見正しい判断をしそうに思えますが、実態と大きくかけ離れたり、間違ったりすることも多いようです。

人間の脳が作り上げたという点では、金融市場はまさにその典型でしょう。実際、「論理的」かつ「利己的」だからこそ、欲に絡んだ理屈が横行し、実態と大きな隔たりのある過剰や過小な評価を生み、極端な価格になる間違いが頻繁に繰り返されています。しかし、そこそが投資の醍醐味です。直感的な視点から行き過ぎた状況を把握できれば、大きな投資チャンスになるのです。

我々も、論理的な思考だけでなく、正しい直感を駆使できる優れたファンドマネージャーを厳選し、さらに優れた成果を上げていきたいと思えます。本年もどうぞよろしく願います。



多根幹雄



マーケット・ストラテジー

12月は、FRBによるテーパリングのペース加速と2022年と2023年に3回ずつの利上げが示唆されました。加えて、マンチン米上院議員がバイデン米大統領の2兆米ドルの支出プログラムに反対姿勢を示したことが金融市場には打撃となり、いくつかの金融機関で来年の米国経済の見通しを下方修正する動きがありました。しかし同議員が金額は縮小するものの同経済対策については再交渉する用意があるとの姿勢を示したことから、2021年の世界の株式市場は年初来16.8%上昇し、過去最高圏で終了しました。



Source: Bloomberg

こうした諸材料を受けて、米10年債利回りは低下し、結果2年債と10年債のスプレッドも低下しました。しかしこれは、市場はインフレ圧力がメデアが予測していたよりもいくらか低くないことを見込んで



Source: Bloomberg

りました。しかし、2021年は実質利回りと「金」の間の歴史的な相関関係を以前のような逆相関に戻した、いわば地固めの年だったと言えるのではないのでしょうか。

翻って、中国では2022年初頭まで十分な流動性を維持することで金融政策を通じて経済活動を復活させようとしているものの、経済成長率の鈍化が懸念事項になっているようです。

一方、ヨーロッパではECBが概ね従前の政策に固執することでハト派姿勢を維持しています。

今後のパンデミックの状況や、それに伴う各国政府の政策などが世界の需要に「短期的」な影響を与える

味しています。そして「金」が依然としてインフレ指標であるとすると、低い価格変動はインフレは一時的な現象であることと示唆していると解釈することも可能です。

「金」価格は2020年初頭のコロナ危機の前半にこそ上昇しましたが、2021年は年初来3.64%となりました。可能性があるため、インフレ圧力の見通しは依然としてかなり不安定になることが予想されます。しかし、新型コロナウイルスの新たな変異株オミクロンの出現によって、再び行動制限等が導入され始めているため、需要はいくらか抑制されることになり、結果的にインフレ懸念は緩和されることになりそうです。そして、中国の経済成長見通しの行方が重要な要素となる一方、逆に中国の景気減速によって供給サイドのボトルネックが吸収されれば、物価の安定にとってはプラスになるでしょう。また、CPIの前年比伸率は2022年前半のうちに鈍化し、インフレ圧力を下げることが予想されます。しかし、最大の「未知数」は前述のようにコロナウイルスの進化であり、最終的にはどのギリシャ文字の変異種で終わりになるのか…これがポイントになりそうです。



樋口恭信

★2022年1月1日より、

業務管理部長が変わります

2014年9月から、弊社に取締役として加わり、業務管理部長としてチームを率いてきた田子さんが昨年12月31日をもって退社いたしました。

業務管理部長として、新規のお客様向けの「はじめの一步」セミナーの各地での開催で投資仲間の拡大に努め、皆様にも懇意にさせていただいておりました。直近の2年間は、かいたくファンド、らくちんファンドのコードモファンドへの併合や、私募ファンドの立ち上げなど、未経験の分野にも挑戦し、昨年は新卒社員の業務管理部への受け入れなどもこなし、多忙を極めており、「ゆっくりしたい」との本人の意向を尊重し、退社が決まりました。

今後は、同じ業務管理部を田子さんと一緒に支えてきた渡辺が業務管理部長を引き継ぎます。

渡辺は、旧楽知ん投信から始まり、クローバー・アセットマネジメントでもお客様の窓口業務に携わっていて、主に電話を通じてですが、お客様にとってはおなじみの存在だと思います。

若い二人の社員とともに、お客様の立場に立った丁寧でフレンドリーな姿勢は、継承しつつ、新しい業務管理部を目指して欲しいと思っております。

このたび、一身上の都合により12月31日をもって退職いたしました。直販の世界に入って24年、その内クローバーでの7年4ヶ月、在職中は多くの方々に公私ともに格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

これよりファンドホルダーの一人として、長期投資の道をご一緒に歩ませていただきたいと思います。

最後に、これまでお世話になりました皆様の、ご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



田子慶紀



このたび、業務管理部長に就任いたしました渡辺です。

会社設立当初より業務管理部で実務に励んでまいりました。まだまだ若輩者ではございますが、日々邁進していきたいと思っております。

皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

渡辺友子

12月のマーケットの概要

米国株式市場は、前月の新型コロナウイルス、オミクロン株の登場で、月初大きく下げた始まり。オミクロン株自体が感染力は強いものの毒性が低いという認識が広がり、実際には当初懸念されたよりも経済に対するダメージは少ないという見方となり、中旬までは反動で値を上げました。FRBは14,15日FOMCでテーパリングの終了を、前倒して来年3月半ばに終了することを決定し、一旦調整がありました。バイデン大統領の追加の経済対策や、新型コロナウイルスの経口治療薬の承認、順調な年末商戦のニュースなどで値を上げました。

一方、日本株式市場も、オミクロン株の登場で、大きく値を下げたところから始まり、オミクロン株の急拡大に見舞われる欧米よりも圧倒的に少ない感染者数で値を戻してきました。中旬になって生産拠点のアジアでの感染が拡大し、回復しつつあった日本でのサプライチェーンに大きな影響が出たため一旦調整となりました。その後、日本での厳密なコロナ対策や新型コロナウイルス感染症の飲み薬の承認などで安心感が広がり、株価は値を戻しました。

コドモファンド

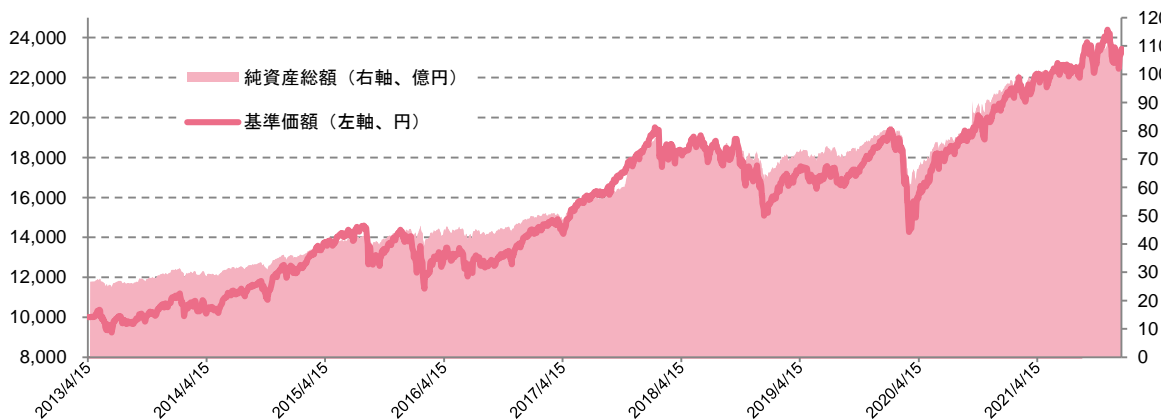
変幻自在ずーっとおまかせ

【12月の運用コメント】

12月初めに追加購入したコムジェスト・ヨーロッパとヴァレン・セレクション、SBIリバイブなどが大きく貢献しましたが、グロース系の日本株ファンドが振るわず、基準価額の前月比は+1.67%となりました。

世界的な金融緩和縮小の流れが始まっていますが、新たな流れをとらえて積極的な運用を目指したいと思います。

基準価額と純資産総額の推移



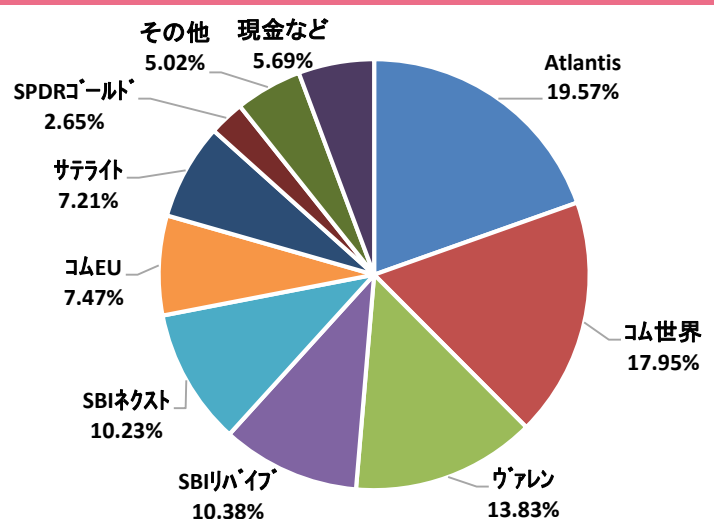
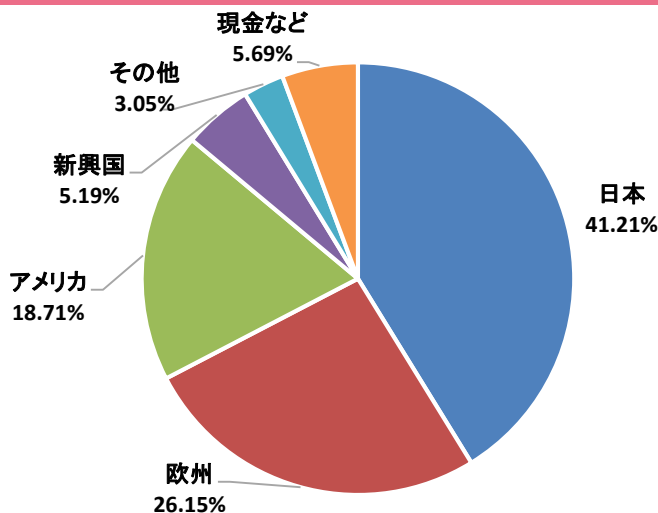
組み入れファンドTOP5 基準価額の前月比

Atlantis	-0.79%
コムジェスト 世界株式	2.97%
ヴァレンS	5.22%
SBI リバイブ	3.89%
SBI ネクスト	-1.45%

コドモファンド概況

基準価額	23,436円	信託期間	無期限
純資産総額	10,783百万円	決算日	毎年2月25日
設定日	2013年4月15日		

資産構成比率(組入ファンド全12本)(左:国別、右:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1か月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
1.67%	1.76%	3.84%	12.92%	50.59%	134.36%
				(複利年率)	(複利年率)
				(14.58%)	(10.27%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用
(信託報酬)

年率1.10%(税抜き1.0%)

組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.75±0.5%(税込/概算)

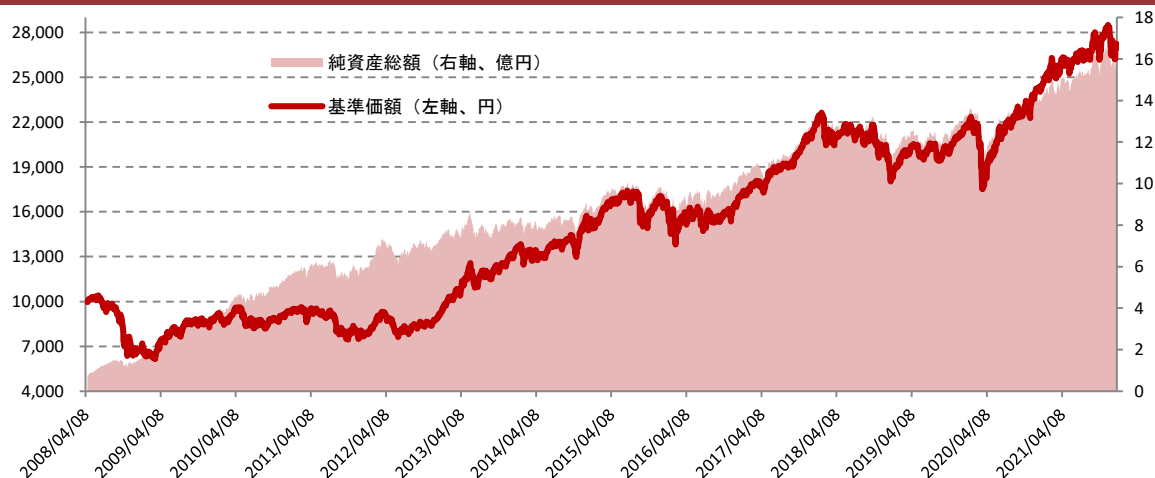
浪花おふくろファンド

じっくりどっしり長期運用

【12月の運用コメント】

12月初めに追加購入したコムジェスト・ヨーロッパとSBIリバイブなどが大きく貢献しましたが、グローブ系の日本株ファンド、特にカーディフ・ジャパンαが振るわず、基準価額の前月比は+0.83%となりました。世界的な金融緩和縮小の流れが始まっていますが、新たな流れをとらえて積極的な運用を目指したいと思います。

基準価額と純資産総額の推移



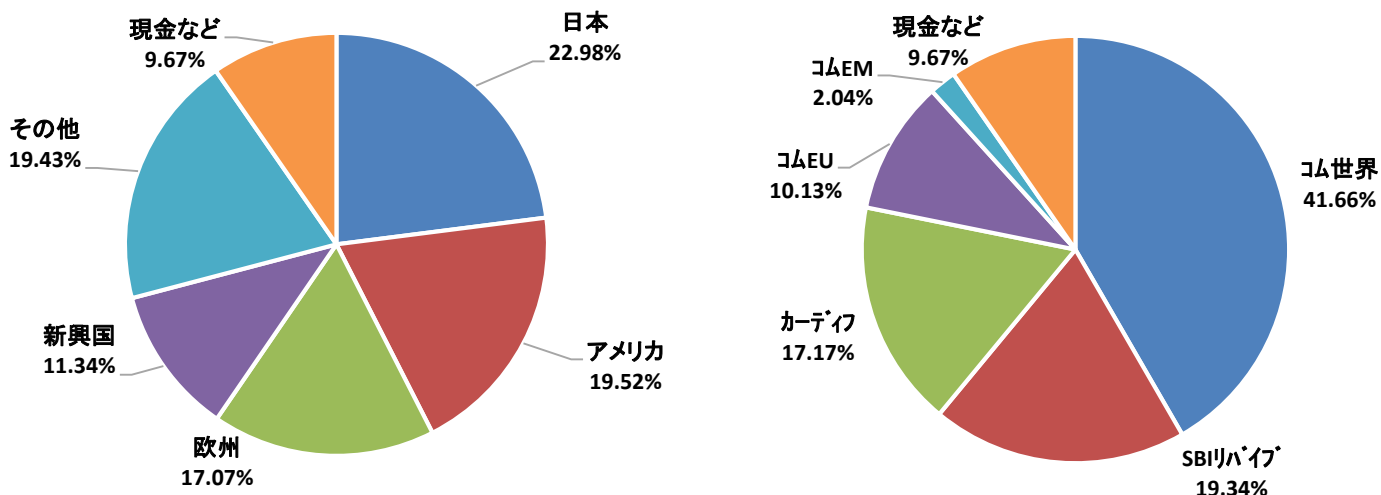
組み入れファンドTOP5 基準価額の前月比

コムジェスト 世界株式	2.97%
SBI リバイブ	3.89%
カーディフ	-9.08%
コムジェスト ヨーロッパ	6.37%
コムジェスト エマージング	2.47%

浪花おふくろファンド概況

基準価額	27,239円	信託期間	無期限
純資産総額	1,607百万円	決算日	毎年3月3日
設定日	2008年4月8日	(休業日の場合は翌営業日)	

資産構成比率(組入ファンド全5本)(左:国別、右:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1か月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
0.83%	0.99%	2.49%	11.51%	45.52%	172.39%
				(複利年率)	(複利年率)
				(13.28%)	(7.57%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬)	年率0.99%(税抜き0.9%) 組み入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.65±0.5%(税込/概算)
------------------	---

コモファンド・浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売はクローバー・アセットマネジメント株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2727号

※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

☆クローバーフェイスブックから

クローバー長期投資セミナー

「アトランティスの秘密7」12月10日開催しました。前週の12月3日でお願したんですが、「大安なのでこの日がいい!」と御指定いただきました。

瀬田石さんのお話の始まりは、ZOOMのバーチャル背景にした三匹のペンギンの絵。なかなかアートな始まり方です。「見ザル言ワザル聞カザル」をもじったものです。エコノミストのCOP26の記事関連で載っていたモノらしいのですが、世界の首脳が集まって会議をしたのに、結局具体的な中味が決まらなかった象徴として地球温暖化の象徴の南極のペンギンが登場したのでは、という瀬田石さんのシニカルな解釈です。

ファンドの状況は、1、2四半期は、まずまずだったが、日本株の急騰した9月を除いては、なかなか厳しい状況だとか。その中で、大きくポートフォリオをいじってないが、昨年、任天堂、ファーストリテーリングなどで得たキャッシュで、今年は面白い中小型株を仕入れて待つている状況とのこと。日本電解、ジャパンマテリアルなど小ぶりの会社に新たに投資している。ちなみに日本電解は昨日(12/15)EV関連として大幅高(トヨタが2025年までにEV15車種を発売することも明らかにした関連)。ヤマシンフィルタなどは、業績下方修正で厳しいが、昨年新規開発で発売しヒット

したマスクだが、ドラッグストアなどでの販売は中止した。高機能で単価が高いので、医療関係や、説明のできるネット販売に絞ることになった。中国の建機生産(輸出)などが、大きく戻ってきているので本業のフィルタ部門が回復することを期待している、など。投資企業の選別は、基本的に業績重視、ESG、ガバナンスへの対応や脱炭素など、一応インタビュースことはあるが、一過性のブームに終わることも多い中、業績さえしっかりしていればいろんな手が打てて、成長できる。



やはり、世間のブームに惑わされず、しっかりした哲学をもって企業選別をされているのを改めて感じました。参加の皆様からの、アンケートも「納得!」の答えが多く届いています。

☆銀座ランチシリーズ

「山笑う」しゃぶしゃぶ

時々行っているお店なのですが、樋口さんがジュネーブに帰る前の最後のランチなので本人の希望を聞いたなら、「しゃぶしゃぶ」という答えだったのでここにしました。一人一人に鍋が用意された高級感のあるしゃぶしゃぶのお店です。店頭のPOPを見ると最低価格が1500円と見えるのですが、よく確認すると豚ロース100gのセットがなんと1200円(税抜き)であるんです。最後にシャベットまで付いて超お得感。値上げがないかいつも心配しています。ジュネーブなどから来ると為替の関係で、とんでもなく安く感じるでしょうね。



お店の外観



実際の料理

新年の抱負

◆ 昨年は、思いもよらない事件がいろいろあって、なかなか忙しい一年となりました。この快適な現状がこのまま続いていくという錯覚を捨て、常に変化するという感覚をもって、それに対処し、むしろ変化を起こしてゆく気概を持って、がんばっていききたいと思っています。



磯野昌彦

◆ 「なにごとにも心動かず常業を守ってゆくときはおもいがけぬ幸をうることあり。いろいろと迷うときは人にたづらかされて身のおき所にも苦しみます」

年始の御神籤で神様からこのようなメッセージをいただきました。

変化の中でもじっくり物事を考えて行動したいと思っています。



森京子

◆ 「病気快癒。健康維持!!」



鈴木隆雄

◆ 本年より、業務管理部長となりました。会社設立当初から業務管理部で実務に励んでまいりましたが、また異なる視点で物事を見ていく必要がある立場となり、責任の重さを痛感しております。至らぬ点多々あるかと思いますが、よろしく願います。



渡辺友子

◆ 今年はもう少し自分自身をいたわり、自分のために何か新しいことを始められたらと思います。



韓栄淑

◆ 相場格言では今年の寅年は「寅千里を走る」とありますが、歴史的には、相場が大きく動く前の準備期間のような年が多かったと思います。

「虎視眈々」と時代の波に乗れるよう、規律をもって万全な準備をしていこうと思います。



宇野隆一郎

◆ 2021年は考え方を含め、様々な変化がある年でした。今年からはファンド事業部も兼務ということで、昨年以上に活発に動き回りたいですね。2022年の抱負は昨年こちらに書かせていただいたものとは変わりがありません。まだまだ知識と経験の蓄積あるのみです。



三浦隆任

◆ 2022年、仕事も私生活も一週間ごとに目標を立てて生活する！筋トレを毎日続ける！この二つを心がける年にしたいと思っています。今年からはお客様の電話で対応させていただく機会が多くなると思います。至らない部分ばかりですが、どうぞよろしく願います。



中川亜美

編集後記

今回から三浦が主に月次レポートの編集をさせていただいております。その一方で業務管理にも在籍しておりますので、月次レポートで何かご指摘やご感想等ございましたらお気軽に業務管理部までご連絡いただければと存じます！

三浦 隆任



「クローバー新年会 大阪」

2022年
1月22日(土)
13:00~15:30

大阪 パリミキ
アメリカ村店での
・対面セミナー

定員30名
【参加費用】2000円

ファンド仲間の交流会

飲み物と軽食をご用意致します。

満員御礼



クローバー 投資政策セミナー 2022.2 ”

2月11日(金)
16:30~18:00

ライブ配信セミナー

定員30名

多根 幹雄 (代表取締役社長)
磯野 昌彦 (専務取締役)
樋口 恭信 (チーフ・ストラテジスト)



ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。
投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はあります。

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡しますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料中に示された数値は、作成基準日現在において入手可能なデータを参照し、弊社にて計算しております。

クローバーから大切なお知らせ

業務管理部からのお知らせ

【「令和3年分特定口座年間取引報告書」の発送について】

「特定口座年間取引報告書」は、特定口座を開設されたお客様へ販売会社が作成・交付するものです。

今回「令和3年分特定口座年間取引報告書」を郵送および電子交付(マイページ)しました。

なお、年間一度もご換金(解約)されなかったお客様について郵送および電子交付(マイページ)を省略させていただきます。

郵送をご希望のお客様は、弊社までお申し付けください。

なお、税制改正に伴い、平成31年(2019年)4月1日以後に確定申告書等を提出する場合、「特定口座年間取引報告書」の添付書類の提出が不要となりました。

【「取引残高報告書(定期交付)」・「ご投資状況のお知らせ」の発送について】

「取引残高報告書(定期交付)」・「ご投資状況のお知らせ」を郵送および電子交付(マイページ)しました。

「取引残高報告書(定期交付)」は四半期毎に作成され、その期間のお取引を記したものです。

今回は2021年10月~12月末までにお取引(売買等)があったお客様および期間中にお取引がなくとも残高がある場合には、最後のお取引から1年が経過したお客様が送付・電子交付の対象となっております。

【毎月つみたてスケジュール】

次回引落日は、2月7日(月)です。

2月分金額変更・中止・再開締切日... 1月25日(火)

3月分新規・口座変更締切日... 2月2日(水)

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話でも承っております。

クローバー・アセットマネジメント株式会社

(受付時間: 平日9時~17時)

お客様専用通話料無料ダイヤル: 0800-5000-968

E-mail: gyoumu@clover-am.co.jp